

當電番號八二四、滿洲國ニ在ル奉天（ムクテン）俘虜收容所ニ付、郵便宛  
 先ハ滿洲國奉天俘虜收容所、收宛可能人員一五〇〇、所長松田大佐、收宛  
 人員將校英六、濠一、米一六、下士官英二九、濠五、米五一、兵卒英四九、  
 濠一〇、米六四七、總計一二七四、英八四、濠一六、京城ヨリ移管サレシ  
 者ニテモト昭南ニ在リシ者、米一七四、比島殊ニ「バタン」コレヒド  
 「ル」ヨリ移管サレシ者、最高年者五七、最低年者二一、代繼者ハ英側ハ  
 「ピーテイ」少佐、米ハ「ハンキンス」少佐、下士官代繼者ハ英一、米一  
 尙米兵卒一、英兵卒一、總計六名、視察月日一九四三年十一月十一日、奉  
 天市外、肥沃ナ平原ニアリ、昨年十月二十日開設、同年十一月十一日收容  
 開始現收容所ニ本年八月ニ假收容所ヨリ移管、收容所總面積四九三〇平  
 方米、高二、六米レンガ葺ニ圍マレ、高壓電線ノ仕掛アリ、建物總面積  
 一三七二〇平方米、俘虜用建物面積一一五五〇平方米、二階建ノレンガ造  
 三棟、陸軍兵舎ト同様、瓦屋根、接續セル手洗場、大小便所、二重ガラス  
 窓、板床、別建物トシテ病院、酒保、倉庫、浴場、汽罐室、雜用場アリ、  
 室内設備トシテ電光、暖房ハ「ロシア」式ヘッーカス（鋼管ヲレンガニ  
 テ圍ミ）ヲ室内ニ設置、陸軍兵舎ト同様、使用期間ハ十一月十一日ヨリ三  
 月二十日迄通風良シ、消火器ノ備アリ、俘虜居室ハ三棟ノ建物、各建物ハ  
 十部ニ分チアリ、上下ノ護臺ヲ有ス、一部分ノ收容可能人員五〇、現在收



容人員兵卒四十二名乃至四十六、將校十六、寢具ハ菓敷蒲團一、軍用毛布  
 六、敷布二、枕袋一、枕カバー一、夏期ニハ蚊帳アリ、命令ハ日本語文ノ  
 英語、衛生設備トシテハ舎ニ接續セル手洗場、大小便所、水栓一二〇、日  
 本式便所七二、毎週汲取、コンクリート湯槽三本、横五米、深一米、三  
 個、シャワー一二二、兵卒入浴一日置、將校毎日、就勞者ニハ着替室アリ、  
 衣服掛アリ、水栓四八、排水良シ、水洗式便所、消毒ハ石灰ニ依ル、下敷  
 ハ消毒液ニ浸ス、給水ハ所内井戸ヨリ飲用水ハ沸騰後使用（給水搭目下煙  
 設中）食事ハ朝、晝、夕、一日一人當食物ハグラムニシテ小麥粉四〇〇、  
 コーリヤン八〇、玉蜀黍一九〇特ニ就勞者ニ肉並又ハ魚肉五二ヨリ一〇〇、  
 脂肪二五、野菜馬鈴薯ヲ含ミ六〇〇、大豆二〇〇、リンゴ、ミカン若干、  
 砂糖六〇、加味料例ヘバカレ、胡椒、醬油、食鹽若干、コーリアン茶二  
 〇、平均カロリー三八〇〇、病者及就勞者カロリー四一二〇、日本軍ノカ  
 ロリ一量三四五七、ヘスタロツチル所内ニ於テ晝食時ニ野菜スーブ、甘  
 薯パイ、馬鈴薯、玉ネギ、豆パイ、玉蜀黍、粉製パン、普通パン、コーリ  
 アン茶試食ス、階上質物ナリ、俘虜ハ食物ニ満足ス然シ結局變化ナキ感ヤ  
 、アリ、一九四二年十二月ノ体重六四、七キロ、現在六九一キロ、俘虜料  
 理人四人内パン焼ヲ含ム料理頭八二十四年間ノ職ニ在リ、大鍋二四、パ  
 ン焼場ニ窯三個、野菜園面積五三〇〇平方米現在ハウレンサウ栽培面積三



五〇〇平方米、根米貯藏室二、一九四四年五月迄ニ貯藏シ得ル人參、キヤベツ、カフラ在リ、健康状態ハ入所當時重病者七〇〇乃至八〇〇、關東軍司令部、陸軍一級病院、赤十字病院ノ盡力ニ依リ健康状態良好トナリ目下ノトコロ上成績ト言待ル所内ニ良設備ノ病室アリ、陸軍病院トシテ認メラル、治療器必要品ノ供給ヲ受ク、診察、訪問ハ俘虜及陸軍醫之ヲ爲ス、齒科治療在奉天陸軍一級病院ニテ、特別手段トシテ全俘虜ニチフス、パラチフスA及B、赤痢、天然痘豫防注射爲ス、レントゲン、血液検査アリ、治療トシテ日本軍醫一、看護人ノ下士官三、兵卒三、常人看護婦五、俘虜治療醫、陸軍醫四、看護下士官及兵卒合計二九、患者數ハ傳染赤痢六、隔離サル、マラリア五、脚氣十三、風邪二、急性腸炎十七、其ノ他二六合計六九、内長期所内病棟入院者四三、短期者三、免義務者二三、開所以來死亡者數奉天ニテ一五四、釜山移管途中及釜山ニテ六二、高雄ニテ六、最悪月ハ一九四二年十二月以後死亡率低下シ、一九四三年十月以來死亡者ナシ、死亡原因ハ急性腸炎、脚氣、赤痢、急性肺炎、マラリア、衣類ハ每夏、冬、酷寒ニ衣服一揃供給サル、酷寒衣服ハ毛裏外套、長靴、毛絲頭布、毛手袋、靴下、下着ヲ含ミ尙作業服、帽子、頭布、長靴、俘虜持參ノ衣服ハ雨外套、夏衣類、將校ノミ各仕度持參ス、洗濯ハ特別洗濯設備、石鹼アリ財的狀態ハ將校個人貯蓄額七、三四六圓他ハ七三四圓、將校ハ日本軍將校ト同額ノ



給与ヲ受ク、點呼七時、消燈二十一時、作業ハ自發的及隨意、毎日曜及祭  
 日ヲ休日トス、仕事ハ所内維持及管理及工場ニテ、兵卒ノ給料ハ一日二十  
 五錢マテ、靴修理所アリ、或庭場ニハミシン四臺アリ、金屬及木材工場ア  
 リ、酒保ニハ卷煙草、菓子日用品、化粧品、文房具販賣ス、日曜及祭日開  
 店、理髮師四名賣上利益ハ仔房ノ希望ニ應ジ利用サル、兵卒ノ買得ル卷煙  
 草數十本將校ハ此レ以上、酒保ニ接續シテ娛樂場アリ、英國教會禮拜毎日  
 曜日、日本人牧師ニ依リ施行、屋外大運動場ニテベスポール、球出來、  
 別運動場ニテハヴァアレーポール、バスケツトボール出來、屋内ニテハカ  
 ド遊、西洋將棋アリ、書籍トシテ小説、専門書、聖書アリ、日刊日本タイ  
 ムス紙一二〇部、週報日本タイムス紙一八部、蓄音機二臺、相當數ノ米因  
 レコード及數枚ノ日本レコードアリ、映畫ラジオホナシ、代燃者ニ依レバ補  
 神的娛樂品ヲ非常ニ必要トス、如何ナル物ナリトモ書籍ノ増加ヲ欲シ特ニ  
 語學研究、機械、農業、醫學ノテキストヲ好ム、一ケ年ニ發シ得ル通信ハ  
 將校蓄信三バガキ三、准士官蓄信一ハガキ三、下士官ハガキ四、兵卒ハガ  
 キ三、尙一ケ月内ニ發シ得ルラジオ通信二〇、仔房情報局經由、一九四三  
 年十月迄ノ發信數蓄信及ハガキ一六二〇、同年十月迄受信數蓄信及ハガキ  
 四三一、電報一一、英代燃者「ビーアイ」少佐ニヨレバ妻ヨリ一九四二  
 年九月八日附ノ手紙ヲ一九四三年九月八日ニ受領ス、米代燃者「ハンキン



スレ少佐ニ依レバ米仔房ハ一九四二年五月以來郵便物受領セズシカシ電信  
ニ對スル返信五通受領ス、赤十字救恤品分配未ダナシ、羅馬法王廳使ヨ  
リノ寄附一、五〇〇圓受ク此金ニテ諸物品例ハ楽器、衣類、講求ス、代  
替者等ノ言ニ依レバ所内總狀應満足アリ、松田大佐ハ好意ヲ示シヨリ、ア  
ル分野ニ於テハ豫期セシヨリ狀態好シ苦情ナシ、所長ニ依レバ紀律ハ總シ  
テ弛ミアルト言フノハ仔房等ハ多種ノ部隊ヨリ成ル故、刑罰數一六〇、不  
從順、コソ泥、所内規則殊ニ防火規則ノ無視ノ爲、逃亡者三、殺人、暴行  
ヲ爲シタル故算法會議ノ結果死刑宣告サル  
奉天市外ニ在ル仔房墓地視察ス、各墓ニ氏名、階級、國籍、認識號ヲ書シ  
タル簡單ナル木十字架安置アリ、來春ニハ草花ニテ裝飾出來ル見込、種子  
一部既ニ蒔ル。總体印象良好、松田大佐及將校ハ最善ヲ盡シアリ、滿洲國  
赤十字社ヨリ大協力、好意、親切アリ、關東軍司令部ヨリモ申分ナキ好意  
アリタリ

ベスタロツチ



赤十字國際委員會駐日代表「ベスタロツケ」の奉天俘虜收容所視察報告書  
府宛電報譯文

此書類は俘虜情報局に保管しある書類の正確なる寫なる事を證明す

昭和二十二年三月二十八日

俘虜情報局事務官

上 阪 賑 一